NIE実践報告

1．タイトル：新聞からアップとルーズを探ろう

2．学校名

兵庫県多可町立八千代南小学校

3．実践者名（代表者名）

中川利彦

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　50人

6．単元（本時の学習課題）名

アップとルーズで伝える

7．目標(狙い)

写真と対応した部分に注意しながら記事を読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめる。
アップとルーズの写真を有効に利用して、伝えたいことを発信する。

8．評価の視点

アップとルーズの特徴を理解するとともに、伝えたいことを伝える方法について関心が持てたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「アップとルーズで伝える」(教科書教材:光村図書)[国語:15時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文「アップとルーズで伝える」を読み、学習全体のめあてを持つ。(2時間)
②教材文をもとにアップとルーズの特徴をまとめる。(5時間)
③新聞からアップとルーズの写真を探し、記事の内容との関連を考える。(4時間)
④探してきた写真と記事の内容との関連についてまとめ発表する。(3時間)

(留意点)
・教師が例を示すことで児童の活動意欲を高めるように支援する。
・写真を大きくして示すなど児童にわかりやすいように工夫する。
・新聞に使われている写真に注目して切抜きをさせ、それに対応する記事を読ませる。
・記事の内容をきちんと読み取らせ、記者の伝えたいことと読者が知りたいことについて考えさせる。
・福祉体験活動（車いす体験など）のまとめづくりの学習に結びつけていく。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞の場合、一つの記事に写真は一つであるので動画の場合と使われ方にややニュアンスが異なる面があるように思われた。新聞の写真は、アップの写真が比較的多く、ルーズの写真は少ない。どちらに属するか判断しにくい写真もある。スポーツ面などに写真が多く使われていて、児童は興味･関心が高く、意欲的に探した。

12．成果と課題

テレビ画面だけでなく関心の薄かった新聞記事の写真についても興味を持って見るようになった。どのようにして使用する写真を選んでいるかという話を記事を担当する記者に直接話を聞くような機会を設けるとよりおもしろく児童の印象に残る学習となったと思う。